

香川の漆文化啓発プロモーションのための 短編映画製作プロジェクト

代表者 松木孝和 (地域マネジメント研究二年)

1. 目的と概要

このプロジェクト事業は、讃岐の漆器文化を対外的にプロモーションするために作成された短編映画の脚本を実際に映像化するものである。

2. 実施期間（実施日）

令和 2 年 0 9 月 0 1 日から 令和 3 年 0 3 月 2 9 日まで

3. 成果の内容及びその分析・評価等

このプロジェクト事業は、前述のように授業で製作された脚本を映像化するために企画された。当初は年内に撮影を終了して編集作業に入る予定だったが、新型コロナウイルス感染症によりロケ現場や役者のスケジュールの調整に難渋することになった。病院でのロケなど一部はどうしても予定通りにいかなかった部分は脚本を修正して対応した。

幸い、遅れていた撮影と編集もなんとか年度内に終了し、約 30 分の作品を 3 月 25 日に納品完了することが出来た。

作品自体も当初計画していたよりも質の高い大変興味深いもので、充分鑑賞に堪える作品になったと感じている。

4. この事業が本学や地域社会等に与えた影響

現時点で、出来上がった作品はまだ公開されていないので作品自体の影響はまだ存在しないが、前述のように様々な関連業種との交流が地域においては発生したのでそれらの発展による様々な化学反応は期待される。実際、まだ公には出来ないが、本交流を通して構築された信頼関係を基にして漆芸かとのいくつかの企画が進行中である。

少し先では公開を企画しており、何らかの影響が期待される。

5. 自分たちの学生生活に与えた影響や効果等

本プロジェクト研究を通して非常に興味深いプロモーションの映画が完成したことが成果の一つとして挙げられるが、他にも、1) 県漆芸研究所をはじめとする地元の漆器職人や作家さんとの交流の誕生、2) 地元アマチュア劇団員との交流を通して地域における活動に接した、3) 音楽作成者とのやり取りも同様に大切な縁の構築に役立った。

これらの事象は、大学の中で自身の周囲だけとの交流をするだけでは発生しなかったもので、この貴重な経験は今後の社会生活において大変役に立つ良い経験となった。

6. 反省点・今後の展望（計画）・感想等

今後の展望として、授業による脚本はまだ沢山あるうえに毎年新しい脚本が出来上がってきている現状があるので、本プロジェクトを継続つないでいてほしいと期待している。

7. 実施メンバー

代表者 松木孝和 19s326（地域マネジメント研究科二年）
 構成員 邑地秀一郎 19s328（地域マネジメント研究科二年）
 市原帆乃佳 19s302（地域マネジメント研究科二年）

8. 執行経費内訳書

配分予算額		200,000円		
執行経費（品目等）	数量	単価（円）	金額（円）	備考
俳優謝金	1	65,000	65,000	個別でなく、まとめて支払った
オリジナルサウンド	1	135,000	135,000	
合計			200,000	